

ご注文申込書

貴店名・帖合

注文数

冊

ISBN4-978-4-904194-08-9 C0074

ジャン＝ポール・サルトル／岩切正一郎「訳」

アルトナの幽閉者

発行 閏月社 (じゅげつしゃ) TEL: 03-3816-2273

定価…3,600円＋税

3月20日発売

ジャン＝ポール・サルトル アルトナ の 幽閉者

岩切正一郎「訳」

四六判・並製・312頁・定価：本体 3,600円＋税

ジャン＝ポール・サルトル (Jean-Paul Sartre)

フランスの哲学者、小説家、劇作家、批評家。20世紀を代表する思想家の一人であり、実存主義哲学を発展させた。主著『存在と無』において現象学的手法を用い、存在の本質を探求する。その哲学は文学や演劇を通じて表現され、代表作に小説『嘔吐』や戯曲『出口なし』がある。また「アンガジュマン」の理念を提唱し、政治的活動にも積極的に参加、社会的不正や戦争に反対する姿勢を貫いた。1964年にノーベル文学賞を受賞するも辞退。生涯を通じて人間の自由と自己実現の可能性を問い続け、後世に多大な影響を与える。

【訳者】

岩切正一郎 (いわきり・しょういちろう)

国際基督教大学・学長。専門はフランス詩・演劇。研究書に『さなぎとイマーゴ：ボードレールの詩学』（書肆心水）他。訳書にパスカル・カザノヴァ『世界文学空間』（藤原書店）他。戯曲翻訳にアヌイ『ひばり』、カミュ『カリギュラ』、ジロドゥ『トロイ戦争は起こらない』（いずれもハヤカワ演劇文庫）。その他、ラシーヌ『フェードル』、サルトル『アルトナの幽閉者』、ベケット『ゴドーを待ちながら』、レザ『ART』など多くの舞台で翻訳を担当。第十五回湯浅芳子賞（戯曲翻訳部門）受賞。

1950年代、西ドイツ。
造船業を営む旧家の家長が、死を迎える。
後継者選びに集まる家族たちと、
明るみに出る罪、そして裁き——
ナチス・ドイツに加担した者たちに仮託し、
状況における責任を問い、
自由と倫理の相克を描き出す。

実存を探究した サルトル最後の戯曲 50年ぶりの新訳

atelier
JunGetsu edit. typeset. and total book design. 閏月社

ご注文は  JRC へ
FAX 03-3294-2177

*全ての取次からのご注文が可能です（JRC 経由）

*返品は長期間受け付けます